

ザイオソフト 日本呼吸器学会と 「COVID-19 後遺症に関する実態調査」での共同研究を開始

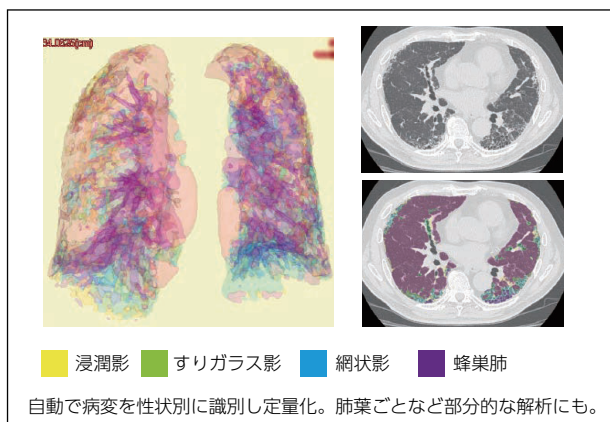
ザイオソフト株式会社（東京都港区 / 代表取締役社長：茅野 秀介）は、日本の3D医用画像処理技術を牽引してきたリーディングカンパニーとして、医療現場のニーズに迅速に応えるべく、次世代医用画像のためのアプリケーション開発に取り組み、高度な画像処理ソフトウェアを発売しております。

このたび当社は、一般社団法人日本呼吸器学会（東京都文京区 / 理事長：横山 彰仁）との共同研究契約に基づき、同学会が厚生労働科学特別研究事業として実施する「COVID-19 後遺症に関する実態調査」において、当社の画像解析技術を用い、胸部コンピューター断層撮影装置（以下CT）による定量評価を行ってまいります。

■胸部 CT による COVID-19 後遺症の経過の評価

新型コロナウイルス感染症においては、罹患後、退院後でも肺機能の低下や発熱、嗅覚異常などの症状で後遺症に苦しむ回復患者が多く、回復後の経過については不明な点が多いのが現状です。COVID-19の診断にはCTが用いられますが、COVID-19によって引き起こされる肺炎は、すりガラス影や浸潤影（コンソリデーション）と呼ばれるエックス線吸収値（CT値）が上昇する所見がみられることが知られており、従前の技術では体積を計測するのは困難とされています。本調査では当社が開発した間質性肺炎定量解析ソフトウェアを応用し、胸部CTから定量的な評価を行います。

■当社の画像解析技術について



当社は、CTによる撮影データから人工知能（AI）を用いて間質性肺炎をはじめとするびまん性肺疾患の病変の広がりを定量評価するソフトウェアを開発しています。このソフトウェアは胸部CTで撮影された画像を読み込み、機械学習を用いた自動処理により、人の手では分類が難しい病変の領域を定量化し表示します。この技術を応用し、COVID-19に罹患し回復した症例の経過を定量的に評価することを支援します。

■ザイオソフト株式会社について

当社は、ソフトウェア技術を追求し、より多くの医療現場の支援となる技術の開発に取り組んでいます。当社製品は、国内医療施設における納入実績ではトップシェアを維持し、特に大学をはじめとする研究機関にも数多く納品され、多くの研究にも寄与しております。

会社概要

名称：ザイオソフト株式会社 所在地：〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル
URL：<http://www.zio.co.jp/> 事業内容：コンピュータソフトウェア・ハードウェアの開発、販売